

(7) 北 陸



北陸地域では、景気は足もとでは、新型コロナウイルス感染症の影響により、景況感が急速に厳しい状況になるなど、弱さがみられる。

- ・ 鉱工業生産は一段と弱含んでおり、新型コロナウイルス感染症の影響もみられる。
- ・ 個人消費は足もとでは、新型コロナウイルス感染症による影響があり、弱めの動きがみられる。
- ・ 雇用情勢は改善している。

(注) 下線を付した箇所は、前回からの変更のあった箇所を表す（ は上方に変更、 は下方に変更）。

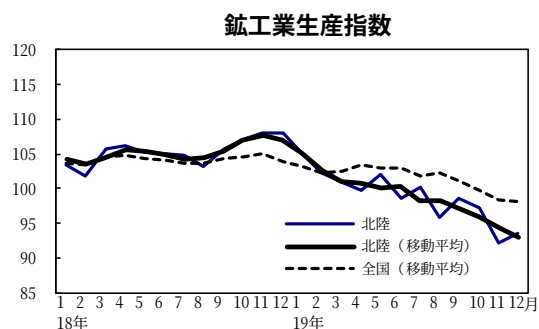
前回からの主要変更点

	前回（令和元年11月）	今回（令和2年3月）	
景況判断	弱さがみられるものの、緩やかな回復基調	足もとでは、 <u>新型コロナウイルス感染症の影響により、景況感が急速に厳しい状況になるなど、弱さがみられる</u>	↓
個人消費	緩やかに増加	足もとでは、 <u>新型コロナウイルス感染症による影響があり、弱めの動きがみられる</u>	↓

1. 鉱工業生産の動向

鉱工業生産は一段と弱含んでおり、新型コロナウイルス感染症の影響もみられる。

10－12月期には、電子部品・デバイス、電子デバイスが減少したことにより、減少した。化学は、医薬品が減少したことにより、減少した。生産用機械は、減少した。金属製品は、建築用金属製品が減少したことにより、減少した。繊維は、減少した。



域内主要業種の動向(季節調整値、前期(月)比) (%)

	付加価値 ウェイト	生産				
		7－9 月期	10－12 月期	10月	11月	12月
電子部品・デバイス	15.3	▲1.1	▲2.9	6.1	▲2.2	▲2.4
化学	14.0	3.3	▲4.4	0.4	▲15.5	▲1.3
生産用機械	11.8	▲11.0	▲1.1	0.4	▲2.6	5.2
金属製品	8.1	1.5	▲4.0	▲1.1	▲2.8	▲6.9
繊維	6.9	1.9	▲2.6	0.8	▲5.3	0.8
鉱工業	100.0	▲1.9	▲4.0	▲1.3	▲5.1	1.5

(備考) 1. 2015年＝100、季節調整値。北陸の最新月は速報値。
2. 全国及び北陸の太線は中心3か月移動平均。
直近月は2か月平均。

(備考) 1. 地域における付加価値ウェイトの高い5業種。
2. 10－12月期、12月は速報値。

2. 個人消費の動向

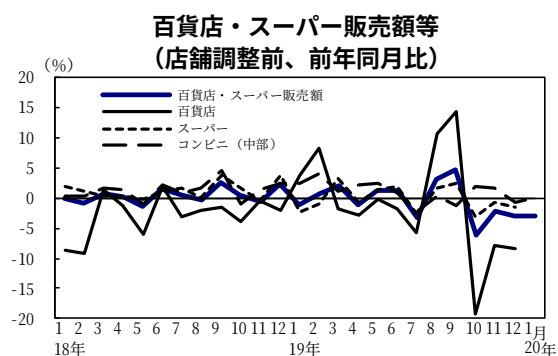
個人消費は足もとでは、新型コロナウイルス感染症による影響があり、弱めの動きがみられる。

(1) 地域別消費総合指数（RDEI（消費））

10月は前月比7.1%減、11月は同1.9%増、12月は同0.4%増となった。

(2) 百貨店・スーパー販売額

10月は、衣料品や高額品などが振るわず、前年を下回った。11月も、衣料品や高額品などが振るわず、前年を下回った。12月は、気温が高めに推移したことなどから、冬物衣料が振るわず、前年を下回った。1月は、前年を下回った。



	2019年 10-12月	2019年 10月	11月	12月	2020年 1月
RDEI（消費*1）	▲3.4	▲7.1	1.9	0.4	—
百貨店・スーパー*2	▲3.7	▲6.2	▲2.2	▲3.0	▲3.0
百貨店*2	▲11.2	▲19.2	▲7.9	▲8.4	—
スーパー*2	▲1.7	▲3.1	▲0.7	▲1.5	—
コンビニ*2	0.9	1.9	1.7	▲0.8	▲0.1
乗用車*3	▲21.0	▲30.4	▲20.5	▲10.2	▲9.4
(季節調整値) *3	▲25.0	▲33.9	17.1	1.8	2.6

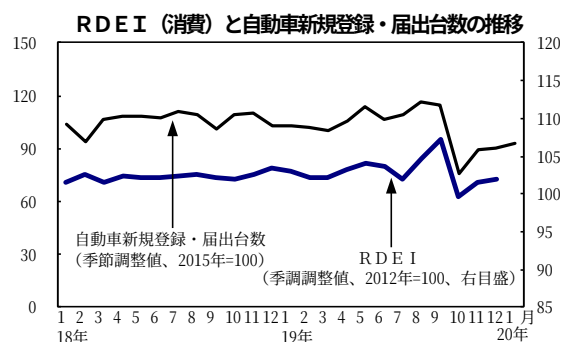
(備考) 1. 季節調整済前期(月)比 (%)

2. 店舗調整前、前年同期(月)比 (%)

2020年1月は速報値。

コンビニは、経済産業省の中部(富山、石川、岐阜、愛知、三重)の値。

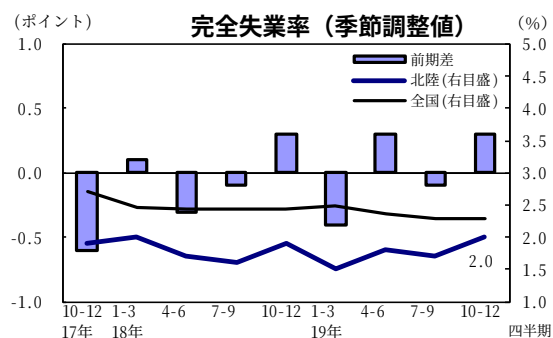
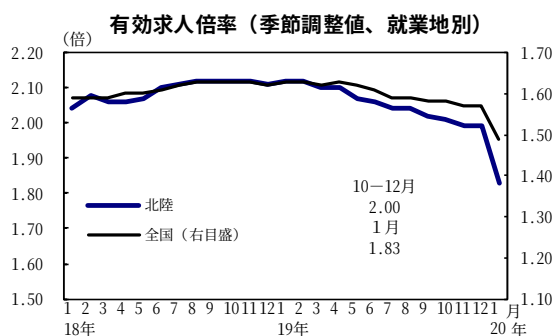
3. 乗用車は、新規登録・届出台数(上段は前年同期(月)比(%))



3. 雇用情勢

雇用情勢は改善している。

有効求人倍率は低下している。完全失業率は前期を上回っている。



(備考) 内閣府にて算出、季節調整。

(13) 景気ウォッチャー調査（2020年2月調査）景気判断理由の概要

7. 北陸

(◎良、○やや良、□不変、▲やや悪、×悪)

	分野	判断	判断の理由
現状	家計動向 関連	▲	・暖冬の影響で積雪が全くなり足元が良いことから、タクシー利用は少ない（タクシー運転手）。
		×	・新型コロナウイルスの影響により旅行中止や旅行控えが多くみられる（旅行代理店）。
		□	・暖冬の影響以上に新型コロナウイルスの影響を強く感じる。客の様子をうかがうと、まとめ買いの傾向がみられる。食料品以外の購入も増えており、不安を強く感じている様子である（スーパー）。
	企業動向 関連	▲	・新型コロナウイルスによる外出自粛の影響で、インバウンドを含め来客数が激減しており、取引先にも大きな影響が出始めている（精密機械器具製造業）。
		□	・引き続き前年割れである。同業の競合各社も同じような傾向と聞いている。ここまで前年割れが続くと、食生活の変化に対応できていないということなのかもしれない（食料品製造業）。
		×	・小売業を中心に新型コロナウイルスの影響が広がり始めており、観光業では予約キャンセルやキャンセルの問合せが出ているなど、売上が落ち始めている（金融業）。
	雇用 関連	▲	・新型コロナウイルスによる自粛ムードが広がり、毎日のようにイベントが中止になっている。それに伴って、広報や宣伝もキャンセルが続き、広告収入の激減が止まらない（新聞社「求人広告」）。
		□	・新型コロナウイルスの拡散防止の観点から、求職者向けの会社説明会が中止になっている（学校「大学」）。
	その他の特徴 コメント		□：消費税の引上げ後の反動に追い打ちを掛けて、新型コロナウイルスの拡大が影響している（住関連専門店）。 ▲：若干の降雪があり、冬季用品は前年比では伸びたが、新車販売の低迷と3年前の新車販売が少なかった影響で車検の台数が大きく落ちている。ドライブレコーダーも報道の減少が大きく影響して、落ち着いた様子である。週末の来客数も例年に比べると少ない（自動車備品販売店）。
先行き	分野	判断	判断の理由
	家計動向 関連	×	・今後の新型コロナウイルスの影響がいつまで続くか見通せない。外出を抑える傾向が長期化し、消費の低迷も続くと考える（百貨店）。
		▲	・新型コロナウイルスによる影響で、メーカーからの商品供給が悪くなっている（家電量販店）。
	企業動向 関連	×	・新型コロナウイルスの影響で、中国から入荷予定の製品や部品が調達できず、日本国内でも生産障害が発生しつつある（金属製品製造業）。
		▲	・現時点の見込み案件数からみて、前年度には及ばない。加えて、新型コロナウイルスの影響が出ないかが気になる（通信業）。
	雇用 関連	▲	・新型コロナウイルスの感染が拡大し、旅行客の減少、イベントの中止などあらゆる面で景気悪化につながり、深刻な問題となってきた（民間職業紹介機関）。
	その他の特徴 コメント		▲：新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、今後の競輪開催に影響を及ぼす可能性がある（競輪場）。 ▲：米中貿易摩擦、新型コロナウイルスによる中国や国内含めた全世界的な経済の停滞や見通しの不透明感、運送コストの上昇もあり、当面厳しい状況が続くものとする（プラスチック製品製造業）。

(D I)

現状・先行き判断D I（北陸）の推移（季節調整値）

